



第9回

# 川でつながる発表会

参加無料

主催：新河岸川流域川づくり連絡会 共催：新河岸川流域総合治水対策協議会

平成26年2月9日(日)  
10:30~16:00(受付10:00)  
川越市立仙波小学校 体育館  
〒350-0033埼玉県川越市富士見町4-1

流域内の小学生から大学生までが行った、川や水、環境を対象にした様々な学習・研究、ボランティア等の活動の成果を発表し、意見を交換することで、学生たちが感じたり、考えたりしたことを知り、世代を超えた交流が生まれるきっかけをつくることを目的に川でつながる発表会を開催します。

### ■プログラム

- 10:00 受付
- 10:30 開会
- 10:40 現地見学会 / 昔の仙波河岸を中心に治水・水循環・歴史をテーマに見学 (12:00 昼食)
- 13:00 発表会 / 学生による川や水、環境の取り組み発表  
交流会 / 行政による治水・水循環・歴史をテーマにパネルを展示
- 16:00 閉会

### ■現地見学会に参加の方は申込が必要！(先着順)

氏名・職業 / 学校名・住所・電話番号をご記入のうえ、下記E-mailまたはFAXにてお申込みください。  
申込締切 2月3日(月) 必着  
【申込先】 新河岸川流域川づくり連絡会事務局  
E-mail: sogo-bosai@dx.n-koei.co.jp  
FAX: 03-3238-8239



JR川越線・東武東上線「川越駅」より徒歩7分  
※会場へお越しの際は公共交通機関をご利用ください。

お問合せ ■国土交通省荒川下流河川事務所調査課  
TEL: 03-3902-3220 FAX: 03-3902-2346

■日本工営(株)都市・交通計画部 担当 吉田 謙田  
TEL: 03-3238-8257 FAX: 03-3238-8239

## 流域の川をたずねて (13)



### —台風26号の概要—

10年に1度といわれる大型の台風26号は10月15日夜から16日午前にかけて関東地方に接近しました。今号では、発表会の開催場所となる川越市の対応を紹介します。



(提供：小江戸新聞「川越ほっと」10月16日記事)

### —台風26号における川越市の対応—

- 15日17時00分—監視体制で待機。
- 21時00分—警戒体制第一配備で待機。
- 21時40分—大雨・洪水・暴風警報発令。
- 16日4時35分—避難所開設を準備し5時11分開設。
- 5時15分—九十川が氾濫危険水位を超えた旨県より連絡。
- 5時25分—九十川の水位がさらに上がったため対象地区に避難指示を発令。併せて、避難応援のため警察及び消防に協力依頼。
- 11時30分—水位が安定した為、避難指示を解除。

(本連載は、川越市より寄稿いただきました。)

## 事務局だより

### 第2回連絡会を開催しました!

8月28日(水)に第2回新河岸川流域川づくり連絡会が開催されました。第2回連絡会では、2月に開催予定の「第9回川でつながる発表会」のテーマや現地見学会のコースについて協議しました。

また、勉強会では、東京都より、「中小河川における都の整備方針の治水対策—」について情報提供をいただき、参加者と意見交換を行いました。



第2回連絡会のようす

### 川づくり連絡会に参加してみませんか?

新河岸川流域川づくり連絡会は、原則第2火曜日または第2金曜日で年4回程度開催します。参加希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。(開催場所はお問い合わせ時にお知らせします。)

### しんぶん「里川」掲載情報を大募集します!

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAXにて下記連絡先までお寄せ下さい。

### ■連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局  
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)  
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1  
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346  
URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>

# THE SHINGASHI BASIN NEWS

## 新河岸川流域しんぶん



VOL. 72

発行 ●新河岸川流域川づくり連絡会 (荒川下流河川事務所 調査課内)  
住所 ●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346  
発行日 ●平成25年(2013)12月5日



切り絵 毛利将範

## 目次

- P2~3 新河岸川流域の活動報告 in 2013
- P4 第9回川でつながる発表会 開催案内  
連載：流域の川をたずねて(13)  
事務局だより
- P5 特集：みんなで目指そう!  
安全で安心できる流域づくり

クリスマス控えて、イルミネーションにより彩られた街の美しさと川原に積もった雪景色の美しさが楽しみな季節となりました。  
今号では、7~11月に開催した川まつりを中心に新河岸川流域内の活動状況を報告します。連載では、10年に1度といわれる大型の台風26号に対する川越市の対応を紹介いたします。特集では、流域整備効果を確認しつつ、流域一体で対策を進めることの重要性を紹介いたします。

# 新河岸川流域の活動報告 in 2013

今年度も、新河岸川流域の各地で市民を中心とした川の活動の1つとして川まつりが開催されました。今号では、5月から11月までに開催された川まつりの特徴や、元気に遊ぶ子どもたちのようすを中心に報告します。

## 5/26 空堀川 「第5回空堀川・川まつり」【主催】空堀川・川まつり実行委員会

「空堀川・川まつり」が空堀広場で開催されました。大岱稲荷囃子が鳴り響き徐々に祭りの雰囲気になっていきました。午前中は丸太切り、竹細工、屋台、川遊び、カヌー体験、フリーマーケットなど子どもから大人までそれぞれ思い思いに楽しんでいました。午後になると毎年恒例のカモレースがはじまり、約100匹のカモ（プラスチックのオモチャ）が川を下ってくる様子に参加者の目は釘付けでした。祭りが終了を迎える時間まで終始にぎわっており、近くを通りがかった人が祭りに引き込まれていく姿が印象的でした。



## 7/14 落合川 「20周年記念『第20回わくわく川清掃&川あそび〜元気を送ろう!東北へ〜』【主催】わくわく川清掃&川あそび実行委員会

「落合川・川まつり」が落合川沿い「不動橋広場」で開催されました。午前中の川清掃では日常から地域の方々が川を清掃していることもあり、年々少なくなってきたと話が主催者からありました。午後は太鼓の音色とともに始まり、東久留米消防署により、河川水による消火訓練と防災の勉強をしたら、いよいよ川遊びです。タイヤボートが大人気で10往復している子どももいました。今年の水ガキ大賞は大量のお魚をとった子どもが選ばれました。子どもの元気を改めて感じさせられました。



## 7/20 東川 「東川・川まつり〜身近な川の調査（東川の川を調べてみよう）〜」【主催】東川を愛する会

「東川・川まつり」が東川沿い所沢市立東中学校前で開催されました。川への感謝の気持ちを含めて遊ぶ前に、まず川の中のゴミ拾いからスタートです。ゴミ拾いが終わったら、魚とり、舟遊びを楽しみました。魚とりでは、こどもたちは自分で捕った魚の種類や特徴の説明に聞き入っていました。舟あそびでは、なれないカヌーがまっすぐ進まないことに悪戦苦闘していましたが、自然とふれあえてみんな満足そうでした。



## 7/21 不老川 「第14回鳥になろう 魚になろう『大森の池まつり』【主催】大森の池まつり実行委員会、大森調節池の自然を守る会

「不老川・川まつり」が大森の池で開催されました。開会の挨拶が終われば一斉に川まつりのスタートです。カヌー、魚とり、虫探し、ザリガニとり、水鉄砲づくり、ジャンボしゃぼん玉、生物クイズなど子どもたちは自分が興味がある場所を思い思いに巡っていました。ザリガニとりでは少しでも大きなザリガニを見つけるのに一生懸命な子どもがいました。またこどもだけでなく、大人の参加者も多く新河岸川流域の歴史や川で活動している市民団体の紹介パネルに興味を示していました。



## 7/27 柳瀬川(清瀬) 「2013 きよせの環境・川まつり」【主催】きよせの環境・川まつり実行委員会

「柳瀬川(清瀬)・川まつり」が清瀬市台田運動広場で開催されました。今年度から清瀬の川まつりは環境フェアと合同開催となりました。魚とり、ボード遊び、いかだコンテストと毎年恒例のイベントに加え、今年度は環境に関するブースが多く出展されていました。水道水とミネラルウォーターの飲み比べやクイズ形式のごみの分別など趣向を凝らしており、子どもと大人共に、環境を学びながら楽しめる内容となっている印象を受けました。



## 7/28 柳瀬川(志木) 「こどもとおとなの自然塾『川の生き物をしらべよう』」【主催】NPO法人エコシティ志木、(公財)埼玉県生態系保護協会志木支部

「柳瀬川(志木)・川まつり」が志木中学校前の柳瀬川で開催されました。川まつりは、まず川の中のゴミ拾いからスタートです。ゴミ拾いが終わったら、川の中の石をひっくりかえし、裏にくっついたり、隠れている水生生物を調べました。続いて、網を片手に魚とりがスタート。はじめに魚の捕り方を教わってから、みんなで水際をくまなく探します。今年はいくつかの魚がとれました。最後に、つかまえた川の生き物の特徴の説明を聞き、川まつりは終了です。こどももおとなも川のことを学べた川まつりでした。



## 8/4 北川 「第18回北山わんぱく夏まつり」【主催】第18回北山わんぱく夏祭り実行委員会

「北川・川まつり」が北山公園で開催されました。毎年新しいことに挑戦している北川のまつりですが、今年は外来種のアカミミガメの捕獲デモンストレーションが行われました。朝一は捕獲に失敗してしまいましたが、北山水族館の人の頑張りで捕獲に成功しました。外来生物の解説をコント形式でおもしろおかしく伝えていました。外来種の勉強以外にも、実際に魚を捕まえたり、虫を捕まえたり、カヌーに乗ったりと盛りだくさんの内容でした。遊びはもちろん、しっかりと勉強ができる川まつりでした。



## 8/11 黒目川(新座) 「第15回わいわい川遊び「アユの棲む黒目川をきれいにして川で遊ぼう」」【主催】黒目川流域川づくり懇談会

「黒目川(新座)・川まつり」が栗原1丁目公園で開催されました。川で遊ぶ前に、まずは皆で川のそうじです。川をきれいにしたら、皆で魚とりです。名人にコツを教わったおかげで、いっぱいとれました。投網にも挑戦しました。その後はカヌーで川くんだりです。兄妹仲良くカヌーに乗って笑顔いっぱいです。お昼の後は、みんなでゴムボート。乗って、引っ張って、泳いで、みんな大はしゃぎでした。その後は、名人によるお魚教室です。みんな熱心に自分がとった魚の名前を覚えていました。最後は、みんなでスイカ割り。みんなで協力して割ったスイカは格別です。今年も大盛況で、大人も子供も楽しめた川まつりでした。



## 10/19 越戸川 「第17回越戸川まつり」【主催】和光自然環境を守る会

「越戸川・川まつり」が赤池親水公園で開催されました。まず開会式とあわせて音楽ステージが開催され、地域の子どもや大人による歌声が会場に響きわたりました。音楽ステージが終わると魚とりやボート遊びが始まり、少し冷たくなった川の水でしたが、子どもたちはおかまいなしに川と触れ合っていました。魚とりで多く魚をつかまえた子どもはチャンピオンとして表彰されました。和光市による総合治水に関するパネルや雨水タンクの展示、埼玉県による越戸川・谷中川水辺再生100プランのパネル展示など、さまざまな機関が連携して流域に関する情報を提供している姿も見ることができました。



## 10/27 白子川 「第13回白子川源流まつり」【主催】白子川源流まつり実行委員会

「第13回白子川源流まつり」は大泉井頭公園で開催されました。台風27・28号がWで接近し、直前まで公園で開催できるか懸念されていましたが、当日は晴天に恵まれました。白子川に係る多くのパネルが展示されており、豊かな湧水を取り戻すため地域の人ができることとして、雨水浸透弁の設置、道路弁の清掃が挙げられている他、地域の人々が実際に取り組んでいる環境活動を記載するコーナーがありました。参加するだけで河川や環境に対する意識が向上し、「できることからやらなければ」と考えさせられるまつりでした。



## 11/16 黒目川(朝霞) 「〜豊かで輝く県土づくりキャンペーン〜黒目川・秋の川まつり2013」【主催】埼玉県朝霞県土整備事務所

黒目川(朝霞)・秋の川まつりが埼玉県朝霞県土整備事務所で開催されました。会場に入ると川の事業や市民活動のパネル展示がお出迎えをしてくれました。会場を奥への進んでいくと多くの水槽がずらりと並んでおり黒目川にいる生物の観察ができました。また、見慣れない網があり、伝統投網漁体験ができました。秋でも川や水を感じることができました。



※今回は流域内での活動の一部を紹介しました。流域内ではその他にも様々な活動が実施されています。



# みんなで目指そう！安全で安心できる流域づくり

めざ あんぜん あんしん りゅういき

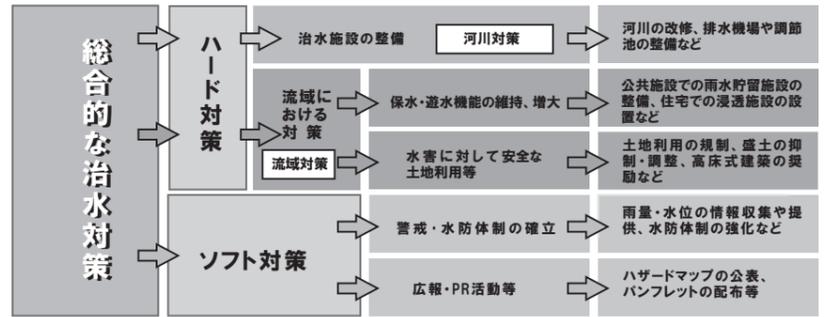
THE SHINGASHI BASIN NEWS  
新河岸川流域しんぶん 里川  
72

## 新河岸川流域について



## 総合治水対策について

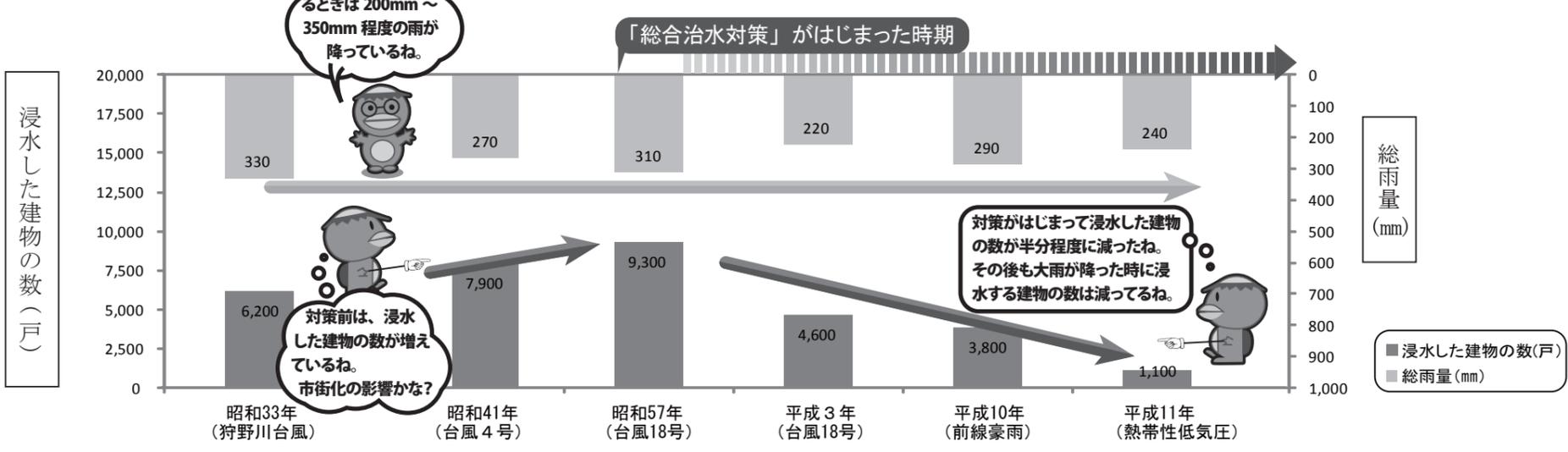
そこで昭和 57 年以降、新河岸川流域では「雨をすぐに流さないような施設の設置など（ハード対策）」と「浸水する可能性がある場所を事前に住民に知らせるなど（ソフト対策）」を組み合わせた「総合治水対策」を進めています。



## これまでの「総合治水対策」の効果はあるの？

今号では新河岸川流域における「総合治水対策」の効果を紹介いたします。下のグラフは横軸に主な浸水被害が発生した時期、縦軸に流域内で浸水した建物の数、流域平均雨量（河川の流域ごとに面積平均した実況の雨量（気象庁））を示しております。対策実施前後で浸水した建物の数を比較すると対策実施後、徐々に効果が出はじめ、数が減少している傾向にあることがわかります。また、具体的にどの程度減ったかという昭和 41 年の約 8000 戸が平成 10 年には約 4000 戸となり、半分程度になりました。

このことから「総合治水対策」は一定の効果があったと思われます。しかし近年話題になっている異常気象、自然災害や浸水した建物の数が全くなかったわけではないことを考えると引き続きみんなが一体となって対策を進めていくことが重要です。



## 総合治水対策に関する情報はどこで知ることができるの？

流域の歴史や、総合治水対策の取り組みの内容、流域のさまざまな人の取り組み、流域内の自然・歴史・公園・治水の資源についての情報は、川づくり連絡会や地域で開かれるイベント・ホームページなどで知ることができます。ここではその一部を紹介します。

ここで知ることができます！	こんなことを知ることができます！※
<b>イベント</b> 川づくり連絡会のイベント 「新河岸川流域川づくり連絡会」では、総合治水対策をテーマとしたイベントを開催しています。 地域のイベント 流域内の自治体や市民が主催のイベントでは、総合治水対策や川づくりについて情報提供しているイベントもあります。	<b>【川でつながる発表会・新河岸川流域フォーラム】</b> ・子どもや大人による水・河川・環境の取り組み ・行政や学識経験者の最新の知見 ・地域の歴史や総合治水に関わりのある施設 ・行政・市民が行う総合治水に関わる取り組み など ・総合治水対策の概要を知るパネル展示 ・雨水貯留浸透施設の助成制度のパネル展示 ・緑地・農地・湿地の保全方法 ・行政の治水に対する取り組み など
<b>ホームページ</b> 川づくり連絡会のホームページ 「新河岸川流域川づくり連絡会」では総合治水についての情報を知ることができます。 【川づくり連絡会】で検索！ 地域（行政や市民など）のホームページ 地域の自治体や市民団体のホームページにおいても情報を知ることができます。 （「新河岸川流域コミュニケーションマップ」では、流域資源などの情報を地図上で知ることができます。）	・川づくり連絡会の活動記録 ・川づくり連絡会活動や地域イベント（川まつり）の開催案内・報告 ・総合治水対策に関する資料 ・川の知識が身に付くQ&A など ・川の整備状況 ・災害のリスクが高い場所（洪水ハザードマップなど） ・雨水を貯めたり、地面に浸透させる方法 ・緑地・農地・雨水関連施設の位置 ・湧水の位置・水量・水質 ・地域のイベント開催地・詳細情報 など

※流域内ではその他にも様々な情報が提供されています。

今年度の川でつながる発表会は2月9日（日）に川越市で開催されるようだね。詳しい内容については里川72号p.4などを見てね！

